



台風に対する備え

防災課

台風による被害

日本には毎年7月から10月を中心に台風が上陸し、土砂災害や河川の氾濫などにより、大きな被害が発生しています。

〔大雨による被害〕

台風やその周辺部では、激しい雨が長時間にわたって降り続くことがあります。また、台風が日本から遠く離れた南の海上にあっても、日本付近に前線が停滞している場合、暖かく湿った空気が流れ込み大雨となることがあります。このため、がけ崩れや土石流、地すべり、河川の氾濫が発生し、私たちの生命が脅かされることがあります。



令和元年東日本台風（台風第19号）では、関東地方や東北地方の太平洋側を中心に、土砂災害や河川の氾濫などにより、100名を超える死者・行方不明者が発生するなど甚大な被害が生じました。



令和元年東日本台風による浸水被害 宮城県丸森町
(山形県消防防災航空隊提供)

また、昨年10月に発生した台風第22号は、非常に強い勢力で伊豆諸島に接近し、大雨、暴風、波浪の特別警報を発表しました。伊豆諸島で線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となったほか、猛烈な風が吹き、海上は猛烈なしけとなりました。さらに翌週には、台風第23号が強い勢力で伊豆諸島に接近し、伊豆諸島では再び大雨となり、東京都八丈町では、土石流が避難施設に流入する被害も発生しました。

〔暴風による被害〕

台風の周りでは強い風が吹いています。平均風速15～20m/sの風であっても、歩行者が転倒したりすることがあります。さらに風が強くなると、物が飛んできたり、建物が損壊したりするようになり、平均風速40m/sを超えると住家が倒壊することもあります。



令和元年房総半島台風（台風第15号）では、千葉市で最大瞬間風速57.5m/sを観測するなど各地で暴風となり、関東地方を中心に住宅約74,000戸が損壊するといった被害が発生しました。

また、倒木や飛来物により、多くの電柱が倒れるといった被害が発生し、大規模な停電が発生しました。

台風の周辺では、竜巻が発生することもあり、家屋の倒壊や車両の転倒、飛来物の衝突などにより被害をもたらすことがあります。

〔高潮・高波による被害〕

台風が接近して気圧が低くなると海面が持ち上げられます。そこにさらに強い風が吹き寄せて、大きな高潮・高波災害が発生することがあります。平成30年台風第21号では、大阪湾を中心に過去最高潮位を超える値を観測するなど顕著な高潮になり、関西国際空港の滑走路が浸水するなど大きな被害が発生しました。



台風への対応

(1) 事前の備え

台風に備えて、次のような準備を十分にしておきましょう。

- ・窓はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強する。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定し、格納できるものは家の中へ格納する。
- ・避難生活や停電に備え、食料、簡易トイレ、マスク、懐中電灯、ラジオなどを入れた非常用持ち出し袋を用意する。

そして、一人ひとりが、どのような避難行動をとれば良いか、あらかじめ理解しておくことが大切です。日頃からハザードマップを確認するとともに、災害に関する情報をテレビ、インターネット、メールなど、どの手段



から入手し、自らがどのような避難行動をとればよいかなど、災害時にとるべき行動を確認しておきましょう。

(2) 迅速な避難

住民がとるべき行動や避難情報は5段階の警戒レベルに区分して提供されています。市町村から警戒レベル4の避難指示や警戒レベル3の高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとる必要があり、警戒レベル5の緊急安全確保が発令された場合は、すでに災害が発生又は差し迫った状況ですので、直ちに命を守る行動をとってください。

また、強い降雨や暴風を伴う台風が接近・通過するこ

とが予想される場合には、気象庁などから出される大雨や土砂災害に関する新しい防災気象情報（令和8年5月29日運用開始）（注1）を参考としながら、避難指示などが発令されていなくても自ら避難の判断をすることが非常に重要となります。

このほか、消防庁では、市町村長の災害対応の経験をもとに「市町村長による危機管理の要諦」（注2）を作成しているほか、「防災・危機管理e-カレッジ」（注3）では、「防災気象情報・避難情報等に基づく避難行動（風水害）」などの動画を掲載しています。台風に備え、ぜひご確認ください。

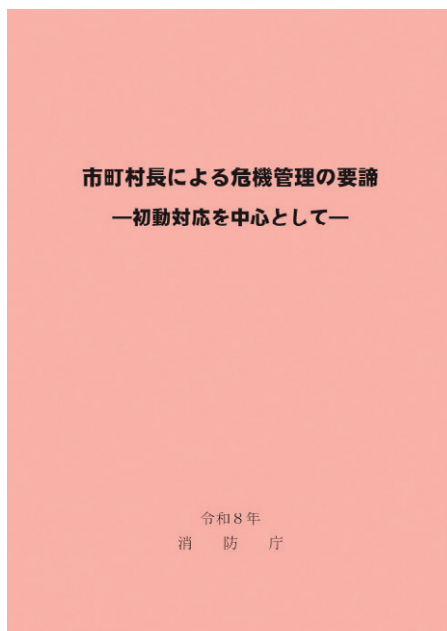
（注1）新しい防災気象情報の情報体系とその名称 出典：気象庁ホームページ

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩壊や土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの）住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！＞					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

掲載先

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

（注2）市町村長による危機管理の要諦



掲載先

<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/e-college/01kikiknrinyoutei.pdf>

（注3）防災・危機管理e-カレッジ

掲載先

<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課
TEL: 03-5253-7525